

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

三種町長 田 川 政 幸

市町村名 (市町村コード)	三種町 (05348)	
地域名 (地域内農業集落名)	畑かん (釜谷)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 7 年 1 月 28 日 (第 1 回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題(複数選択可)

高齢化により担い手や後継者が不足している。 農業者の耕作地が分散しており、非効率的な農業生産状況である。

(2) 地域における農業の将来の在り方(複数選択可)

他地域からの担い手を呼び込む必要がある。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	224.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	224.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

協議が行われる地区の範囲内は、農業上の利用をする農用地の区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
借り手が見つからない場合は、他地区の農業者の受け入れを行い、放棄地の発生を抑えていきたい。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
基盤強化法(集積計画)で賃借をしていたものは、期間満了後、農地中間管理機構(促進計画)や農地法(第3条)を活用した賃借へ切り替える。
(3) 基盤整備事業への取組方針
必要に応じて地域内で協議を行い検討していく。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
町農林課、農業委員会、JA、土地改良区等の関係機関と連携し、多様な経営体の確保、育成に努める。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
必要に応じて検討していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)(複数選択可)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

--